

「広報ののいち」のイベント面に 読者である町民を惹き付けるものがない

きっかけ

- ✓ 広報ののいちは、事務的な情報を並べた単調な記事が多い
- ✓ 興味を持てるような記事がない印象を受ける
⇒ **改善する余地**があるのではないか? と考えた

既存策紹介

**まちづくりのきっかけに
市内電車環状線で新しく路線
が追加されることになりました。**

大手モール周辺地区は、かつてあった学校や総合病院など生活するうえで必要な施設が移転してなくなったこともあり、居住人口が減少しているとのことです。

環状線の開業について斎藤さんは「みんなでイベントを開催するなど良いまちづくりするきっかけになれば」としたうえで、「自分たちが住んで良かったと思えるまちになれば自然と人も増えてくる」と期待を込めています。

環状線をきっかけに自分たちの手でまちを良くしようという意気込みを語ってくれました。

関係者の話を書いてある場所がすぐわかる

名前にふりがながあり、間違いを起こさせない

広報とやま
2010年1月5日号より

前提条件

項目	満足すべき条件	根拠・出所
野々市町全世帯に配布	19111(世帯)	野々市町役場 広報情報課
発行部数	22000(部)以上	野々市町役場 野々市町HP
印刷費	800(万/年)前後	野々市町役場 広報情報課
最低発行回数	12回(月1回)	野々市町役場 広報情報課
最低ページ数	16(ページ)	野々市町役場 広報情報課
購読料	0(円)	野々市町役場 広報情報課

問題点の発生分析

開催されたイベントの詳しい説明がない

紹介されているお店の詳しい場所情報がない

お店からの話がない

広報ののいち
平成21年11月号より

達成条件

項目	満足すべき条件	根拠・出所
参加者からの情報	10(人/1か月あたり)	班内ブレーンストーミング
声が入った記事の割合	15(%/1ページを100%として)	班内ブレーンストーミング
カラーページ数	6(ページ/20ページに対して)	班内ブレーンストーミング
図(グラフ、地図)の数	3(つ/1か月あたり)	班内ブレーンストーミング

解決策の紹介

■わかりやすい広報

- ✓ 読者は野々市町の高齢者、主婦層
- ✓ 読みやすく、理解しやすくして興味を惹くように
例：富山県高岡市「市民と市政」

■豆知識クイズの掲載

- ✓ 雑学ブーム+ちょっとした内容でもためになる
- ✓ ストレートに情報を載せるより良いのでは?
例：富山県高岡市「市民と市政」

■インタビュー記事の掲載

- 「結果」的記事が多く町民の生が見えてこない
- ✓ イベント参加者の感想・意見がほとんどない
- ✓ 広報ののいちにインタビュー記事があまりない

町民の声を載せることで**地域との繋がり感**を向上
町民の**話題づくり・情報共有**に役立つように

特許情報

- 特許情報の検索
検索キーワード (広報に関する特許は見つからず)
▶ **記事 紙面 構成** → 69件の特許が存在

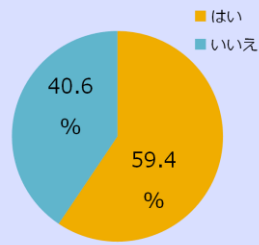
検索結果より一部抜粋

- ▶ (新聞)文書レイアウト装置
- ▶ (新聞)記事提供システム

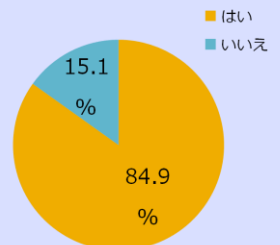


有効性

広報誌にインタビュー記事は必要と思うか?



知人がインタビュー記事に掲載されていたら読むか?



インタビュー記事は興味を持つ理由になりうるかを調査

KIT BRAIN BANKより

金沢工業大学
2009年度 プロジェクトデザインⅡ
テーマ：「広報ののいち」のイベント面に読者である町民を惹き付けるものがない
チーム番号：IM305-2
チーム名：二翻
班員名：中内 智広, 中村 和幸, 野花 幸哉, 藤本 和真, 舟津 佑希人, 山口 めぐみ, 土井 勇樹
担当教員名：松本重男